

つれもて会・第452回例会 報告書

担当：東グループ

松本、高橋、小林、大西、北村

1. 日 程 : 6月14日(日) 距離：約6km

2. 行き先 : 大和郡山城址周辺

3. 参加者 : 50音順 (計17名)

五百井さん、大西さん、岡田さん、木田さん、北村さん、熊谷さん、郡さん、
小瀧さん、小林さん、高橋さん、土岐さん、西本さん、平野さん、藤田さん、
松本さん、水谷さん、安平さん

4. 報告書 :

- ・梅雨の晴れ間というか、前日の猛暑とは打って変わって終日曇り空の予報。それに加えてそよ風が吹くというこの季節としては最高の天候のもと、全員集合を確認後、10:10に近鉄郡山駅を出発。ゆったりとした足取りで歩き、郡山八幡神社で小休憩し水分補給を行ってから、「金魚資料館」に向かう。
- ・「金魚資料館」は私設の施設であるが、金魚に関する様々な資料や多くの種類の金魚の水槽を見て回る。周囲には金魚の養魚池が一面に広がっている。
- ・その後は車道を注意深く通って秀長の墓である「大納言塚」を見学。秀長に関する説明板にも目を通してから、すぐ近くにある元藩主の柳澤氏の菩提寺の「永慶寺」に立ち寄り、郡山城址に向かう。県立郡山高校の横を通過。
- ・郡山城情報館のそばの芝生公園で昼食休憩とする。相変わらず直射日光がないので、屋根のない場所でもさほど暑くはない。目の前にはこれから訪れる天守台跡がそびえる中、ゆったりとした昼食休憩を取った。
- ・昼食後は、7月例会の説明と会歌を斉唱して天守台跡へ向かう。極楽橋を渡って柳澤神社に立ち寄り、天守台の階段手前で集合写真を撮る。
- ・天守台からは、北東に若草山や三輪山が、南西には二上山、葛城山、金剛山の姿が遠望でき、西側には矢田丘陵と生駒山を望む。
- ・秀長が治めた大和、紀伊、和泉など百万石の地のほぼ360度の眺望を楽しんだ後は階段を降り、珍しい「逆さ地蔵」をのぞき込む。これは、石垣を築造するため各地から墓石などまで取り寄せた中で、一体のお地蔵さんが石垣の中で上下逆さまに積まれているものである。
- ・下城の際には、市民有志の寄付で再建された立派な追手門の前でもう一度集合写真を撮り、江戸時代の名残をとどめる郡山市内を歩く。秀長の菩提寺である春岳寺前などを通して解散地の近鉄郡山駅には14時前に到着する。
- ・そこで一旦解散し、反省会に向かう12名は大和西大寺駅で下車した。
- ・最高の天候と、進行にご協力いただいた参加者の皆さまに深く感謝したい。

5. 次 回 : 7月26日(日) 琵琶湖疎水方面(北グループ担当)

以上



天守台の前にて
(後方は東側、後方右は東多門櫓、左は旧奈良県立図書館)



追手門前にて